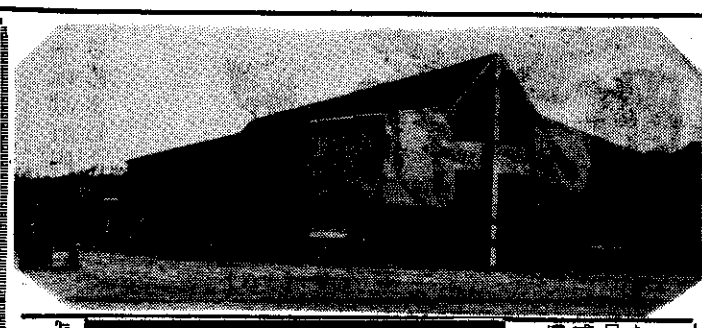
屋内体操場が完成

二中の屋内体操場が三月九日に完成しました。

総工費一、五一〇万円、鉄骨造り二一六坪で、内部は一七一坪の運動場をはじめ、運動器具室、更衣及びシャワー室教員室、控室、予備室、スチージなどをそなえています。



内部施設ではステージなどの幕と、おりたたみパイプいす五〇〇脚は、同校PTAの寄付により設備されました。

町では、水道工事、内部体育器具の一式、連絡用放送設備、体育器具移動設備、引幕などの取り付けなどに約一二七万円をかけて設備しました。

この近代建築のすいを集めたりつぱな建物のもとで、三月十六日同校の第十八回卒業式典が多数の父兄をあつめて盛大に行なわれました。

きつと、あらたな希望を胸に巣立つていつた卒業生たちにとつても、この屋内体操場の完成は、うれしい思い出として残るものと思います。

写真は完成した屋内体操場（上）とそこで最初の卒業式

交通安全少年隊

小幡小に結成される

三月五日小幡小学校（大井田尚夫校長）に全校児童により、交通安全少年隊が結成されました。

この隊は小幡小学校の児童のひとり、ひとりが交通規則の勉強を守るために注意しあい、積極的に学校の行き帰りのめんどうをみたりせわをすることを目的としております。

隊には隊長（中沢浩次君）をむき、大字別にわけた七地域の分隊があり、分隊には班を設けて組織されております。

また隊員たちは、登校、下校するときは班ごとに一定の場所に集合してから、行動することになつております。

このほかに隊員たちは、ときどき仕事についての反省会をもつたり、交通規則の勉強をしたりします。

交通事故は、どんな人が被害者になつても悲惨なものであり、気の毒であることには変わりはありませんが、いたいけな児童たちの交通事故はいつそう悲惨でありかわいそうに思われます。

いかにかわいいわが子でも一日中子どものうしろについて、子どもの行動を見はつていることは、どんな親にとつても不可能に近いことといわねばなりません。

まして学校に通つている子どもたちの親は、少なくとも学校の行き帰りの途中は、先生や親の目から離れて行動するのです。

わが子の身の上に交通事故のないようにと、せつない願いをこめて、日ごろいくら口をすつぱくして注意を与えていたとしても、子どもたち自身に交通安全に対する自覚がなく、またいちいち注意されなくても、いつでもちやんと交通規則を守つているというよい習慣が、おのずから子どもたちの身についていなかつたならば、交通事故の悪魔はいつ子どもたちの身に、飛びかかつてくるかも知れません。

こうした悲しみをなくすために、子どもたち自身の自覚と力によつて知らず知らずのうちに、交通規則と交通道徳を身につけていく意味からもこの小幡小学校交通安全少年隊の今後の活躍が期待されます。

右は交通安全少年隊の結成式のようす

サークル「仲間」をたずねて

若い夢を歌うこと

かぶらマンドリンクラブ

「かぶらマンドリンクラブ」が誕生したのは、六年前の春です。音楽の好きな人たちが集まつて、自分たちの手で音楽をやろうという目的で、クラブを作つたのがはじめです。

会員たちがかぶら川の流域にちらばつていたことやいなからしいそぼくさを失なわぬ意味から「かぶらマンドリンクラブ」と名づけたという。

身近な青少年を、たとえ幾人でも音楽を通じて人間性豊かな仲間として育てていこうとする目的もあつた

会員は町内の人たちが多く、現在は十五人で年令も十四才から四十五才まで、広範囲にわたつている。

細谷三郎さんの家が会員の集まり場所で、会費は月百円、クラブにはいまギター、マンドリン、マイクロホンセットなどがあるが、これらを備えるために、自己資金や、会員が山からマキの背負い出しなどをしてその利益金で買つた。

会員たちが集まつて、いろんな曲を練習して楽しい時間をつくり、歌をうたつたり話し合つたりしているが、そのほかにも養老院の訪問や、町の成人式での余興などにも出かけて行く。

「音楽」という親しい仲間をつくり、その仲間同志でお互いに励ましあい導きあうなかで、お互いが本音（ホンネ）を出しあえるようになつてくる。

他人の経験をきくことによつて自分が反省し、自分の行なつていることをあらためてつかみなおす。といつても、そのような身につく話は、ウソやうわべをとりつくろつたものでなく、ほんとのこと、（ホンネ）でなければならない。

こうしたホンネを出し合つた話し合いは、その話の一つ一つがズシンと重みをもつて胸にこたえ、ほんとうに内容をもつたものになつてくる。マンドリンクラブでは、こんなふんいきをつくるためにみんな努力しているという。

なぜなら、そのようなグループでの話し合いなどから決して借りものでない経験のうえにたつた意見が身についてくるのだということを、みんな信じているからだ。

いまクラブがもつている夢は、春秋二回の定期演奏会を開催すること、もつと音楽の好きな仲間がたくさんあつまることなどである

指導者はいないが、よい指導者は、仲間が協力して「よい指導者をつくりあげること」だとみんな信じている。そして、サークル活動の目的として、会員の一人はこうも言うのです。

「このサークル活動にもそれなりに苦労が多いものです。しかし、ちようど山登りのように、足の強い人が、ひとりでスイスイと頂上に登つてしまうのではなく、弱い人を助けながら、みんなで頂上をきわめ、みんなで歓声をあげるよろこびが、わたくしたちの最高の目標なんです」と。

練習にはげむ会員たち

火災・あきす・すり

痴漢にご用心

寒い冬から解放され、花にさそわれた人の心はうかれ、気はゆるみがちなものです。

この心のすきにつけこんで「火事」「あきす」「すり」「痴漢」などが目立つて多くなります。また、少年たちは進学や就職の苦しかつた試験勉強から解放され、とかく無軌道な行動にはしり、非行におちいりやすい季節でもあります。

お互いが次のことをよく守つて、楽しい春にしたいものです。

◇ **電気暖房器具について**

● 外出の多くなる季節です。暖房器具、その他電器具については、必ずコンセントから切り放して外出するよう習慣づけましよう

電気がむだになるばかりか、火災の原因になり、ひじように危険です。

● 暖くなると暖房器具も不用になります。したがつて、これを整理、保管にあたつては、次の点に特に注意しましよう。

○ 熱源部のほこりは、必ずきれいに取り除く。

○ コードの接続部分を点検し、いたんだ箇所は修理しておく。

○ 必ず乾操した場所に保管し、コード等は他の器具のものとまちがえないように、必ずいつしよに保管する。

◇ **泥棒がるすをねらつています。**

春は花見や行楽のため、外出する機会の多いときです。お出かけのときはもちろん、ちよつと家をるすにするときでも、必ず現金や貴重品は、人の気づかない所にしまい、戸締まりをしつかりして、さらに隣近所の人によく頼んでから出かけるようにしましよう。

あなたはねらわれている

◇ **スリがあなたのすきをねらつています。**

外出するときは、必要以上の大金を持ち歩かないことがたいせつです。

もし必要があつて持つて出るときは、こづかい銭と別にして、きちんとしまい用心して出し入れするようにしてください。

◇ **痴漢はいつもあなたをねらつています。**

春風にさそわれた若い女性の華美な服装は、とかく痴漢の対象になりがちです

散歩や夜道のひとり歩きは、特に危険です。また最近は、ドライブにさそつて乱暴する痴漢がふえています。さそわれてもぜつたいに乗らないようにいたしましよう。

◇ **少年の非行を防止しましよう。**

少年をすこやかに育てるためには、まずおとな自身が、自分たちの生活態度を反省するとともに、少年の日常生活について、もつと関心をもつことです。

春は少年たちにとつて、気分的に解放され、また誘惑されやすい季節でもあります。悪への第一歩といわれる少年の飲酒、喫煙については、保護者だけではなく、周囲のみなさん、愛情をもつて見守つてやりましよう。

春の清掃は一斉に

同時に衛生害虫駆除も

四月十九日から二十五日まで、全国いつせいに「環境衛生強調週間」が始まります。

この週間は、わたくしたちが清潔で快適な生活を営むためには、日常生活を通じて、家庭・地域・ひいては、わたくしたち全体の生活環境を清潔にすることを目的にして行なわれるものです。

特に、四月二十二日は「清掃の日」とされていますが、わたくしたちの家庭でも、この日を中心に「春の大そうじ」を行ないたいものです。

春の大そうじのねらいは、冬の間、窓もあまりあけず家の中に閉じこもつていたため部屋にはたくさんのゴミがたまつているはずです。これをきれいに掃き出すことと、成虫やサナギ、卵の姿で冬を越したハエ・蚊・ゴキブリ・ノミ等の衛生害虫がこれから急に繁殖しはじめるので、その前にこれらを徹底的に駆除するためです。

◇ **隣近所いつせいに**

衛生害虫駆除は、いつせいにやらないとあまり効果がありません。また、多くのホコリとゴミが出るので近所迷惑になるのです。

◇ **順序とやり方**

屋外へ出した畳は、裏側を日に当てるようにして立てかける。タンスや戸棚などの家具類を全部出して、天井、壁床、縁の下の順に、家の中のゴミをきれいに掃き出しましよう。床板をできるだけはずして、床下のゴミもよくそうじする。このとき、天井や床下のネズミの巣に注意して取り除くこと。ネズミのあけた穴は、板やブリキなどで、しつかりふさぎましよう。

◇ **殺虫剤の使い方**

ひととおり屋内のそうじがすんだら、殺虫剤を散布してください。殺虫剤は、同じ成分のものでもメーカーによつて、いろいろな商品名で出まわつているので、薬局などで買うときは、成分によく注意して、用途に応じたものを買つて下さい。

天井、壁などには、残効性のある油剤か乳剤を噴霧器で一平方メートル当り五〇CCやしたたるぐらいに一面に吹きつけましよう。

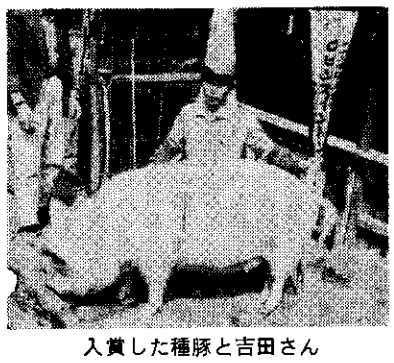
床下には、粉剤を一平方メートル当たり一〇グラム程度まいてください。

吉田さん種豚が優賞

県の共進会で

県の家畜登録会の主催する、第12回群馬県種豚共進会は、3月25日から3日間、高崎市畜家畜市場で行なわれました。大字上の吉田進一さん（30才）は、第一種未経産の部へ豚一頭を参加しましたところ、21頭参加したなかから選ばれて優等賞を獲得しました。

この豚はヨークシヤ種のめすで2才、体68.4、体重136キロ、胸囲121センチ、胸巾32.1センチ、前幅35センチ、後巾34センチ、管囲16.5センチのりつぱな成績が認めらものです。



入賞した種豚と吉田さん

秋畑小に花壇できる

PTAが四日間も奉仕

秋畑小学校に教材用の花壇ができました。

これは同校PTA（浅香国作会長）七〇名が三月二十六日から四日間、勤労奉仕でつくりあげたものです。長さ二十五メートル幅一一メートルのコンクリート造りで、PTAでは、この花壇に四万円支出しました。

この教材花壇の完成により各学年の理科、社会科などの教材と関係づけて、新学期から毎日の学習に役立たせるとともに、環境美化の面からも多くの効果が期待されます。